

令和 4 年 9 月 定例会 一般質問

通告 4

質問 開陽台再整備の方針について

答弁 再整備の着手に向けて検討を進めてまいります

1 番 平山 光生 議員

【質問：平山 光生 議員】

1 番、平山光生です。開陽台の再整備の方針について質問させていただきます。

開陽台は道路や駐車場の整備が行われた 1981 年頃、ライダーからの人気が高まり、1995 年に現在の開陽台展望館が新設され、町民から愛される中標津町のメインといえる観光地であります。



しかし、施設やトイレ、道路、歩行階段など、およそ 30 年近く大きな整備はされておらず、維持補修に留まった結果、愛されてはいるものの、観光客のニーズに対応されていない、多くの問題点を抱える状況となっています。

2018 年には第 6 期中標津町総合発展計画に記載されている開陽台整備構想と合わせ、一般社団法人なかしべつ観光協会から、開陽台再生基本計画が策定され、観光協会・中標津町・民間事業者が一体となって整備していこうとされましたが、実際には総合発展計画に記載されながらも、中標津町からの事業提案はなく、観光協会の取り組みに依存する形となったため、大きな整備は叶わず、新しい第 7 期中標津町総合計画の町民意向でも、再び観光振興について、まちづくりに重要であるが満足していないという結果となって表れているのではないのでしょうか。

第 7 期中標津町総合計画の基本構想をはじめ、前期基本計画においても、既存の観光施設のあり方を検討した効果的な再整備を進める必要があると記載されています。既存の観光施設は開陽台ばかりではないですが、年数的にも改修が必要となる設備が多い現状を踏まえて、必要に迫られた施設の改修に着手していくのではなく、中標津町民にも観光客にも愛される開陽台へと生まれ変わるためにも、交流人口の増加や雇用推進につながる総合的な再整備の構想を策定し、中標津町・観光協会・民間事業者と全ての中標津町民が同じ方向を見て、少しずつでも整備を進めていけるようにしなければいけないと考えますが、開陽台の今後の方針についてどのようにお考えでしょうか。

【答弁：町長】

平山議員御質問の開陽台再整備の方針について御答弁申し上げます。

本町の観光入込客数は、新型コロナウイルス感染症の影響によりまして2年連続で減少しており、地域経済の影響を考えると、観光需要の回復は喫緊の課題と言えます。

本町としましては、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた観光推進に向けまして、令和2年度より中標津空港利用促進対策事業、テレワーク推進事業、観光推進事業などに取り組んでまいりました。依然として新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響はあるものの、今年の夏は3年ぶりに行動制限のない夏休みとなったことから、少しずつではありますが、開陽台にも賑わいが戻ってきている印象を受けております。

開陽台につきましては、本町を代表する観光スポットでありまして、地平線が丸く見える視界330度の眺望の魅力とともに、ライダーの聖地として親しまれてきました。

開陽台の施設につきましては、毎年のオープンにあわせて点検や修繕を行い、適切な維持管理に努めるとともに、これまでの水道施設の大規模改修や町営牧場へつながる散策路、フリーWi-Fiの設置など、観光客のニーズやサービス向上に向けた整備を行ってまいりました。

また、昨年度は、なかしべつ観光協会と連携し、コロナ交付金を活用して施設の一部リニューアルにも取り組んでおり、テントサイド横に展望テラスや散策路を整備して新たな導線を加えるとともに、屋外テーブルや案内版の設置、展望館内の展示をリニューアルするなど、訪れていただいた方々にゆっくりと過ごしていただけるよう工夫を行いました。今のところ観光客などからも好意的な反応をいただいております。

しかし、議員から御指摘のありましたとおり、開陽台の現施設については、整備から約30年が経過をしております。利用者の方々からも、駐車場トイレの老朽化や使い勝手が悪くなった展望館までの歩行階段、バリアフリー化への取り組みなどについて御指摘を受けているのも事実でありまして、再整備が必要な時期に来ていると認識をしております。

以前より観光協会からも、開陽台再生に向けた御提案をいただいておりますので、将来にわたって多くの観光客や町民に親しまれる施設となるよう、利用者や関係者などから御意見を伺いながら、第7期中標津町総合計画の考え方に沿って、開陽台再整備の着手に向けて検討を進めてまいりたいと考えておりますので、御理解を賜りますようお願い申し上げます。

【質問：平山 光生 議員】

1 番、平山光生です。再質問させていただきます。

先ほど町長から御答弁いただいた中に、利用者や関係者などから御意見を伺いながら、再整備の着手に向けて検討を進めたいとありました。開陽台はライダーのみならず、車やバスでの観光、学生の遠足、町民のリフレッシュにと多様な利用者がいらっしゃいます。

そして、開陽台だけでなく、観光地の整備については意見の集約が難しいからこそ、多くの声を聞く必要があると思います。

将来にわたって多くの観光客や町民に親しまれる施設というのを叶える再整備の意見の収集方法に学生も参加しやすいアンケート型と、私が夢見る開陽台をテーマに、グループごとに発表し合えて誰でも参加できる公開討論会の開催が有効であると考えますが、公開討論会という意見交換の場を設けることについて、町長はどのようにお考えでしょうか。

【答弁：町長】

はい。再質問にお答え申し上げます。

再整備にあたりましては、もちろんいろんな方、多くの方からの御意見を頂戴するというのは、これはもう当然のことでございますので、そういった部分に沿いまして調査を進めてまいりたいと考えております。

ただし、公開討論会がいいかどうかということにつきましては、ちょっとこの場での部分に関しましては、ちょっと発言しにくいところでございますけども、いずれにしても多くの方の意見、それから今までの蓄積もございますので、そういった部分、それから古くなりましたのも事実でありますので、何とか改修に向けて進めていきたいというふうに考えておりますので、御理解をよろしくお願いいたします。以上です。